

鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者委員会

日 時	平成 29 年 3 月 24 日（火） 13:30~15:00
場 所	市役所 3 階 庁議室
出席者	委員 12 人 坪水徳郎、松永正水、皆倉貢、酒匂司、飯澤貴志、角屋敷猛司、坂口和俊、久保健太朗、浜田保、加藤リサ、川元ひとみ、落司ひとみ

■主な質疑等

発言者	内 容
委員 事務局	○修学旅行で農業体験学習・民泊などの状況がわかるか。 ⇒平和学習と併せての民泊として、H26 が 5 校 119 人、H27 が 14 校 1,259 人となっている。 また、農家民泊には、都市部の中高生も来ている。受入家庭が 57 あるが、各 4 人位の実績があり、その中で農業体験を行っている。
委員 事務局	○広域観光はどのような形で進めていくか。 ⇒官民協働で「おおすみ観光未来会議」を立ち上げたところであり、今後民間主導のDMOとして自立させていく予定である。そのため「食のEXPO」や「大隅手帖」など収益のある取組を増やしていく必要がある。
委員 事務局	○鹿屋市は「ばらのまちかのや」を進めているが、ばら園の整備は今後どのように進めていくか。 ⇒面積や品種の数など日本一は色々あるが、今後は面積を広げる予定は無い。ばらをメインにしながら霧島ヶ丘公園全体の魅力を高め、施設を充実していく中で、ばら園を位置づけていきたい。
委員 事務局	○保育園の遠足で小動物園に行くが、動物が少なく子ども達の喜びが少ないように感じる。霧島ヶ丘公園へ移設はできないか。 ⇒環境対策の問題もあるため霧島ヶ丘公園への移設は考えていないが、動物と触れ合う機会として、遠足の時期やイベント時に「移動動物園」による、うさぎやポニーの展示を計画している。